



保存修理後の鉄炮鍛冶屋敷（井上関右衛門家住宅・堺市指定有形文化財）

「伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」  
（令和2年にユネスコ無形文化遺産に登録）

以下17件の国の選定保存技術から構成

「建造物修理」、<sup>ひわだ</sup>「建造物木工」、<sup>こけらぶき</sup>「<sup>かやぶき</sup>檜皮茸・柿茸」、<sup>ひわだ</sup>「<sup>かや</sup>檜皮採取」、<sup>うろしぬり</sup>「<sup>かや</sup>屋根板製作」、<sup>がわらぶき</sup>「<sup>ほんがわらぶき</sup>茅採取」、<sup>さいしき</sup>「建造物装飾」、<sup>えんつけきんぱく</sup>「建造物彩色」、<sup>そうこう</sup>「建造物漆塗」、<sup>えんつけきんぱく</sup>「屋根瓦茸（本瓦茸）」、「左官（日本壁）」、「建具製作」、「畳製作」、「装演修理技術」、「日本産漆生産・精製」、「縁付金箔製造」

令和7年 10月12日(日)  
午後1時～午後2時30分

講師：中村 琢巳氏 東北工業大学教授

会場：堺市博物館ホール

定員：80名 参加無料 申込先着順

申込：9月22日(月) 午前10時から、電子申請システム・

電話にてお申込みください。詳しくは裏面をご覧ください。

―森を守り、生活文化を伝承させたサステイナブルな技術

# メンテナンスやリサイクルから読み解く 伝統木造建築の歴史

無形文化遺産は「生きている文化遺産（living heritage）」で、人々の絶えない実践・再現によって、世代から世代へと伝承されます。また、無形文化遺産は自分らしさを保つ文化的アイデンティティの拠り所で、無形文化遺産の保護は文化の多様性を保護することになります。

## パネル展示「日本の無形文化遺産」

会場：堺市博物館 文化遺産展示室

会期：令和7年11月3日（月・祝）まで

ユネスコ無形文化遺産  
代表一覧表とは？

日本の  
無形文化遺産は  
全部で何件？

どんなものが  
ありますか？

パネル展示から答えを見つけましょう



主催 堺市

協力 アジア太平洋無形文化遺産研究センター

堺市博物館  
SAKAI CITY MUSEUM

# メンテナンスやリサイクルから読み解く伝統木造建築の歴史 — 森を守り、生活文化を伝承させたサステイナブルな技術

日時：10月12日（日）午後1時～午後2時30分

講師：中村 琢巳氏 東北工業大学教授

木や土、草、竹といった自然素材を組み立てて、美しく仕上げる日本の伝統木造建築は、メンテナンスやリサイクルを繰り返し、ながく使いつづけることを高度に洗練させたサステイナブルな技術です。民家や寺社、茶室などの身近な伝統建築の事例に基づいて、その技術やデザインの特徴を、メンテナンスやリサイクルのしやすさ、継ぎ接ぎの美といった「守り伝えた技術」の視点から読み解きます。

さらに、伝統木造建築を守り続けることは、大工や屋根屋、左官、建具屋といった諸職の技術継承に加えて、森林資源などの自然環境の保全、地域固有な生活文化（住まい方）の伝承といった多彩な無形文化財と密接な関わりをもちます。最近とくに着目されている「古民家再生」の系譜も含めて、有形の木造建築と無形文化遺産が織りなした、伝統建築を守り伝えた歴史を紹介します。



茅葺き民家（福島県前沢伝統的建造物群保存地区）



茅刈り（宮城県石巻市北上川河口域）



庭の雪囲い（青森県弘前市仲町伝統的建造物群保存地区）



黒板塀の修繕（同左）

写真提供：中村 琢巳氏

## 《定員・お申し込み方法》

定員：80名（参加無料・要申込・先着順、展示の観覧は別途観覧料が必要）

令和7年9月22日（月）午前10時より受付開始。

電子申請システム・電話にてお申込みください。

堺市博物館 無形セミナー係 TEL.072 (245) 6201



電子申請システム

## 堺市博物館

SAKAI CITY MUSEUM

〒590-0802

大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁 大仙公園内

TEL.072 (245) 6201 FAX.072 (245) 6263

https://www.city.sakai.lg.jp/kanko/hakubutsukan/

●開館時間 9時30分～17時15分（入館は16時30分まで）

●休館日 月曜日（ただし、10月13日、11月3日は開館）

●観覧料 特別展期間（9月20日（土）～11月3日（月・祝））

一般 1000円（800円）

高校・大学生 500円（400円）

小・中学生 250円（200円）

※（ ）内は20名以上の団体料金

※常設展のみの観覧料は下記HP等でご確認ください

※堺市内在住・在学の小・中学生は無料

※堺市在住の65歳以上の方、障害のある方は無料（要証明書）



堺市博物館 HP



Facebook



Instagram



堺市博物館公式キャラクター  
サカイタケくん

©YABUCHI Satoshi



世界遺産  
World Heritage Site of Osaka  
百舌鳥  
古市古墳群

Mozu-Furuichi  
Kofun Group

独立行政法人国立文化財機構

## アジア太平洋無形文化遺産研究センター

International Research Centre for Intangible Cultural Heritage  
in the Asia-Pacific Region (IRCI)

〒590-0802

大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁 堺市博物館内

TEL.072 (275) 8050 FAX. 072 (275) 8151

https://www.irci.jp



## ◆交通案内

電車 JR阪和線「百舌鳥」駅下車約500m

バス 南海高野線「堺東」駅から  
南海バス（140系統で約10分）、  
バス停「堺市博物館前」下車約280m

駐車場 大仙公園第3駐車場  
（仁徳天皇陵古墳東南・有料）